

市の考えを問う

14人の
議員が
質問!

一 般 質 問

12月定例会では、14名の議員が一般質問を行いました。掲載文に関する文責は各議員にあり、内容に関するご意見やお問合せは、議会事務局までご連絡ください。なお、質問の全内容は、会議録や議会映像ネット配信で閲覧することができます。(右のQRコードで映像ネット配信に進めます)



議会の質問は、提案された議案に対する「質疑」と、市政全般(一般事務)に対する「一般質問」があります。「一般質問」は地方自治法に記載はなく、規則で「できるもの」と定められていますが、知立市議会では毎定例会行っています。質問を行う場合、議員は事前に議長へ要旨を通告することになっており、通告外の質問をすることはできません。また、知立市議会では質問時間を40分までと決めています。なお、知立市議会では市長に「反問権」が認められています。

議員は一般質問を行うために、様々な情報収集や調査研究を行い、市における施策の問題提起や注意喚起を行い、執行部も現状把握や解決策等、方向性を示す共通理解の場としてとても重要です。

子ども・子育てについて 知立市について

柴田 勝 議員



問 お誕生おめでとう電話とは何か。

答 妊娠時から切れ目なく支援を行い、生後2週間ごろに助産師が相談にのり、悩みや育児不安の解消に努めている。

問 児童発達支援センターについて、通所受給証の交付基準は。定員や施設の拡充はするのか。

答 障害手帳の保持者、医師の診断により保護者と面談し支援計画書を作成し施設の利用のため有効期限を定めて発行。現在定員15人だが20人に拡充予定。

問 知立東小学校のむすびあい教室とは。

答 知立東小学校のむすびあい教室は家庭に引きこもらせず自由な時間に登下校している。チャレンジキャンプがあり人間関係をつくり自立をうながしている。

問 防災ママかきつばたの協力と支援は。

答 2016年から交流しており主催セミナーに市の職員が参加し様々な啓発活動をしている。備蓄食料の提供をする。

問 外国籍の人は職員採用試験に応募できるのか。今までに実績はあるのか。

答 国籍の要件はないので受験できる。就職の制限がある資格の人は採用できない。保育士1人を採用した。



給食費無償等の子育て支援 引きこもり支援について

日本共産党知立市議団 佐藤 修 議員



問 物価高騰、賃金が上がらない中、子育て世帯の経済的負担軽減のため、学校給食費の無償化、子ども医療費通院を18歳年度末までの無料化、国民健康保険子ども均等割り軽減を提案する。学校給食費の無償化費用及び安城市並みの第3子無償化費用は。学校給食費無償化は望ましいか、望ましくないか。

答 無償化は、財源を度外視すれば、実施した方が良い。

問 子ども医療費無料化の全国動向、通院18歳年度末まで無料化実施の費用は。

答 通院18歳年度末まで無料化は全国1,741自治体中817で実施、費用は5千万円。

問 国保子ども均等割は、多世帯ほど負担が重い人頭税、未就学児まで半額減免

となったが市独自でさらに拡大すべき。

答 全国市長会でも軽減を要望している。全国の動向を見ながら考えたい。

問 全国100万人と推計され、引きこもり問題は深刻。市の実態は。専用の相談窓口を開設し、積極的に相談を呼びかけ、寄り添う対応をすべきでは。

答 16歳から64歳で推計700人。特化した組織を作ることは難しいが話を聞くことが基本の一つ。



災害時に有効な通信手段の 備えについて

民友クラブ 川嶋 太久郎 議員



問 市の所管する施設の公衆電話の数は。

答 市内14か所、15台。

問 災害時専用の特設公衆電話の設置状況は。

答 26か所すべての指定避難所に配置されている。

問 災害時にはどのような流れで特設公衆電話は使用できるようになるのか。

答 特設公衆電話用電話機と接続コードが用意してあるので、接続するだけで災害時には速やかに使用することができる。

問 指定避難所以外の町内公民館等への設置の予定はあるか。

答 現時点で指定避難所への設置のみとなり、その他町内公民館等への設置の予定はない。

問 子どもたちに公衆電話の利用方法を

教えていることはあるか。

答 子どもたちへの公衆電話の利用についての指導は、特には行っていない。

問 市内で災害時にも利用できる無料公衆無線 LANの整備の予定はあるか。

答 災害時のフリーWi-Fiスポットや災害時に携帯キャリアが垣根をこえて無料開放する公衆無線LANサービスなどを活用して、災害時の情報伝達手段を確保していきたい。



*フリーWi-Fi…公共の場所において誰でも利用できるように無料で提供・開放されているWi-Fi(無線LAN)サービス

市民に寄り添う 住みやすい街づくりへ

問 令和4年10月28日出産・子育て応援交付金が閣議決定した。妊娠から出産、子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援が実施されるが、知立市の考えは。

答 伴走型相談支援の知立市の新規メニューは、すべての妊婦に妊娠8か月頃にアンケートと必要な人には面談を実施していきたい。経済的支援については、現金給付が現実的であると考えている。

問 带状疱疹ワクチンの効果については。

答 発症率の低下や重症化予防、神経の損傷による痛みが続く带状疱疹後神経痛などの予防にもつながると考える。

問 带状疱疹ワクチン接種助成制度導入を早急に推進していくべきでは。

答 国は定期予防接種について検討している段階。今後、ワクチンの定期接種化

公明党 那須 幸子 議員



の検討は進んでいくと思われる。引き続き国の動向を注視していく。

問 狭あい道路解消に向けた取り組みについて市が行っている補助は。

答 測量及び分筆登記に必要な費用の2分の1、上限25万円までの補助。

問 国の補助金を活用しての取り組みは。

答 社会資本整備総合交付金・狭あい道路促進事業の国の交付金を来年度から特定財源として活用していく。



知立市のスポーツ推進について 地域ねこ活動の推進について

問 グラウンド・ゴルフなど大きな競技大会の時は、会場での駐車場確保が難しく、高齢により運転自体が困難なケースもある。知立駅などから参加者を送迎するために、市のバスを借りられないか。

答 内規に合致している事業であれば、市が所有しているバス使用は可能である。

問 知立ペタンク協会は全国大会に毎年出場し、優勝等の上位の成績も収め、日本代表としてアジア大会へ出場する人もいる。シティプロモーションと更なる技術向上のため、北林運動広場の空きスペースに砂利入りコートを整備できないか。

答 ペタンクをやる市民から改めて要望を聞き、その後、総合的に判断したい。

問 地域ねこ活動の団体チラシで問合せ先として県の連絡先も記載するので、環

篤心会 山崎 りょうじ 議員



境課と連名での記載を提案するがどうか。

答 裏面など団体とは別の個所ならば、市の課名や連絡先を掲載してもいい。

問 地域ねこ活動は、寄付金やボランティアの善意で行っている。生活環境問題や不幸な猫をこれ以上、増やさないためにも、来年度4月から不妊去勢手術費補助金事業の創設を強く要請するがどうか。

答 近隣市の事例を参考にしつつ、来年度4月に向けて、制度の創設をしていく。



空家問題と交通安全の整備推進



篤心会 神谷 定雄 議員

問 知立市における空家等対策について取組んできたことは。

答 平成28年度に空家実態調査を行い、平成29年度に空家等対策計画を策定し、空家対策に取り組んでいる。適正な管理が行われていない空家の所有者等への指導、町内会への回覧や広報及びHP等による適正管理の周知啓発、空家相談会による問題解消の相談、納税通知書への啓發文書同封による空家予防対策などを実施。

問 特別区を設け最低建築面積の縛りを作り、民間委託の考えは。

答 最低建築面積の縛りや民間委託については、現時点で考えていない。土地の流通に関しては活発にされていると感じている。空家が放置される原因は、再建築不可の理由もあるが、相続等の問題等

多くの理由によりそのままとなっている事例が多い。市としては今後においても専門家による空家無料相談会を実施し、少しでも空家問題が解消され、空家が活用されるよう空家対策事業を進める。

問 通学路の危険な交差点21か所すべて対策済との報告だが、どんな方法で危険な交差点から交通事故をなくす考えか。

答 関係機関で協議した対策を施し、総合的に交通事故防止を図っていく。



水道管の老朽化対策とAI活用 産業促進拠点の企業立地の促進



篤心会 田中 健 議員

問 知立市の水道は供給開始以来58年が経過し、市内の総管路延長は約300km。安心安全な水の供給における課題は何か。

答 管路の耐震化は20%強であり、40年の耐用年数を超えた管もある。収入減が見込まれる中、更新費用の増大が課題。

問 AIによる水道管劣化予測診断は、地中の水道管の状況を判別し、破損確率の高い配管から更新を行うことで管路整備コストの最適化を図るとともに、配管の破損・漏水事故を最小限に抑えることができるもの。導入の検討をしてはどうか。

答 今後の水道管を維持管理していく上で、AI技術活用は有効であると考えている。

問 知立市の企業立地の開発手法について、メリットとデメリットは何か。

答 知立市が進めている民間開発では、

企業の希望に応じた柔軟な対応を行い、農業・工業が双方無駄にならないメリットがあり、それはコストにも反映される。デメリットは、企業ニーズや地権者等の事情など、多様な調整が必要となり、開発完了時期などの目標が不明確となる。

問 補助・優遇制度について十分か。

答 近隣他市と比べても遜色はないが、先進市のポータルサイトのような取り組みを参考にし、更なる活性化を図りたい。

西三河地域工業統計調査結果

市区町村名	事業所数	従業員数	製造品出荷額等
岡崎市	664	47,044	2兆5,764億円
碧南市	316	16,805	9,607億円
刈谷市	334	49,764	1兆5,850億円
豊田市	789	112,478	15兆1,717億円
安城市	452	49,526	2兆5,196億円
西尾市	571	40,500	1兆7,461億円
知立市	119	5,313	1,479億円
高浜市	151	11,833	5,361億円
みよし市	174	16,206	1兆836億円
幸田町	85	12,056	9,042億円
累計	3,655	361,525	27兆2,312億円

子どもたちの安心な環境づくり 知立公園の観光事業推進



公明党 兼子 義信 議員

問 不登校児童生徒のために校内フリースクールを立ち上げ、子どもたちに寄り添う体制づくりに取り組んでみては。

答 小学校でも校内適応指導教室が必要だと考えている。校内フリースクールの先進的な取組事例を研究していきたい。

問 特別支援学級の支援充実への取組は。

答 在籍する児童生徒数は年々増加し、来年度は約3割増、教室数も小学校で8教室、中学校で2教室増が見込まれている。児童生徒支援員や子どもサポート教員の増員についても検討していく。

問 学校と地域の人と一緒に子どもたちの見守りや支援をしていくコミュニティースクールを導入してみては。

答 現在学区の区長等の協力で、地域が主体となって子どもを支える意識が高ま

っている事例がある。地域ぐるみの新組織をつくっていきたいと考えている。

問 観光事業として、知立公園の花しょうぶ園の環境整備への市の対応は。

答 トイレの洋式化は市の総合計画の実施計画にて要望していく。手すりの設置は今年度対応したい。噴水や水栓の水道工事は補正予算に計上している。園路の整備は、部分的だが車いすで見学できるスペースが取れるか研究を進めている。



ゼロカーボンシティを目指して 保育士配置基準について



日本共産党知立市議団 中島 孝之 議員

問 ゼロカーボンシティ実現のための方法、実現のプログラムはどうか。

答 環境省の県出先機関に出向き、支援要請した。地域新電力の立ち上げもあり、国の補助事業も活用して推進する。

問 あいち地球温暖化防止戦略見直し案に対応する知立市の計画見直し予定は。

答 令和5年度に計画見直しを行う。

問 知立市のCO₂排出量削減の状況は。

答 2013年度比で2019年度は12%削減。

問 市役所及び市施設でのCO₂排出量は。

答 2021年度は2013年度比3.7%削減。

問 2030目標達成に向けて、スピード感が大事だが、市長の考えと決意は。

答 環境省との協力で、脱炭素先行地域への応募もしていく。

問 保育士配置基準をどのように評価し

ているか。

答 保育にかかわる根幹の問題で、20年前から改善が言われているがされていない。財務、処遇トータルで改善を望む。

問 公立保育園での定員に対する基準、実配置の保育士数は。

答 定員1,439人、基準171人、実配置271人となっている。

問 現在の待機児童数は。

答 国基準27人、個人事情28人。



駅周辺整備・連続立体交差事業 知立昭和地区の現状と今後



久世 泰男 議員

問 連立事業延伸の要因は何か。

答 2点ある。工事施工が標準工法から仮線を1線ずつ順番に切り替えながら空いたスペースに高架構造物を作る安全性を考えて線間施工に変更で3年延伸、駅舎部分を3段階に分けて施工することで2年延伸、併せて5年延伸に。

問 駅周辺整備事業の今後の進め方は。

答 エリアプラットフォームの街のにぎわいづくり検討会議・ワークショップで課題を洗い出し、令和5年・6年で、駅周辺の未来ビジョンを作成する。

問 西新地地区再開発事業を組合施行に変更したが、その後の進め方は。

答 現在事業計画作成、令和5年度準備組合設立、令和6年度都市計画決定を行いたいと考えている。

問 昭和地区の現状と今後、昭和未来会議の地元住民中心の協議会設立の考えは。

答 もともと地域の課題は地域でというコンセプトで始まり、令和元年度から長寿介護課で日常の支援協議会を始めており、今後は福祉課など各部署と協力して進めていく方針。



超高齢化社会への対応は急務 歴史的資源の価値の見直しを



正和会 川合 正彦 議員

問 高齢化が急速に進展し社会保障制度の維持と、生涯現役の体制づくりが急務。介護認定者、介護給付費の近年の推移は。

答 令和元年から3年間で介護認定者数は、183人増の2,070人、介護給付費は約2億5千万円増の32億9,600万円。

問 地域包括ケアシステムの中で、オンデマンド対応等の整備が必要。介護、医療、生活支援等、多職種連携の充実は。

答 関係機関との連携は不可欠。在宅医療介護連携推進協議会で円滑な在宅生活の維持を継続支援。また、定期巡回随時対応型訪問看護1か所を設置し対応。

問 生きがいを持ち生涯現役で働ける環境整備と、高齢者就職相談窓口の開設は。

答 企業と求職者のマッチング事業を継続していく。相談窓口は今後の検討課題。

問 2025年、三河知立駅が開設110周年。北側の農業倉庫の保存も兼ね一体的に駅を中心に発展した歴史伝承の施設整備は。

答 歴史の伝承は重要だが検討が必要。

問 県の御宿印めぐり事業の影響は。

答 観光交流センターに御宿印目的の来場者が、平常時の10倍以上の日もある。

問 来訪者に対して東海道の整備の遅れは問題。早急に整備着手してはどうか。

答 費用と効果を考えながら、検討する。



信号機設置について

問 5年程前、市民から知立中学校北西交差点が危険であり、信号の設置を要望されたと聞いたが進捗状況は。

答 過去の書類を探し、当時の担当者にも聞き取りをしたが、確認をすることはできなかった。

問 市役所に来たら区長の所へ行くように言われ、その後、警察へ行き説明もしたが、当時は見送りになった。今後に期待していたが今日になってしまった。市民も残念がっている。対応に問題があるのではないか。

答 市でできる部分是对応すべきだったと感じている。

問 信号機の設置はできるのか。

答 警察庁が信号機の設置の指針を定めており、知立中学校北西の交差点は、必

嶋田 義雄 議員



要条件を満たしていないため設置はできないものと聞いている。

問 心配されている安全確保はできるか。

答 時間はかかるが、路面表示の引き直しは土木課で対応する。カーブミラーを大きな物に取り替え見やすくしたい。



これからの事業者支援に必要なものとは

問 *カーボンニュートラルの実現に向けて事業者への実態調査では、中小事業者の大半は自社事業所のCO₂排出量の見える化が未着手であり、中小事業者は余力もなく公的な支援を求める意見が多いという結果が出ている。中小事業者にCO₂排出量算定促進のため、市独自の補助金創設はできないか。

答 中小事業者等が省エネによるコスト削減やカーボンニュートラルの推進を図るために、省エネ診断費用や事業者が次世代自動車の導入と併せて、充電設備を設置した費用について、来年度からの実施に向けて制度設計含め現在検討中。

問 行政として拠点をつくり、商工会や地域金融機関等と共に事業者の経営力強化につながる支援を行政が待っているだ

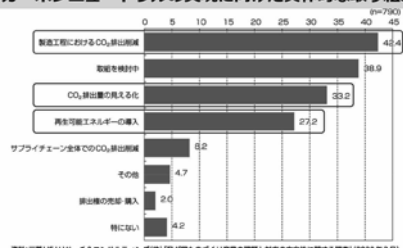
篤心会 中島 清志 議員



けでなく、プッシュ型支援で進めていくことが、これからの事業者支援に求められていると考えるが。

答 よろず支援相談窓口については実績が上がらず終了した。しかし、中小企業振興会議でも経営相談窓口の設置について答申されていることから、商工会や金融機関と連携し、中小企業への支援に対するニーズ調査を実施し、中小企業や小規模事業者からのニーズの把握に努める。

カーボンニュートラルの実現に向けた具体的な取り組み



*カーボンニュートラル…温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること

今後もプロギングの定期開催を



民友クラブ 杉浦 弘一 議員

問 令和3年の6月定例会で、*プロギングの開催を提案。10月に開催することができた。アンケート結果は。

答 「次回も知立で開催した場合、参加したいか」との設問は、「参加したい」または「条件が合えば参加したい」のみの回答。「その他の意見」としては「定期的に今後も開催してほしい」、「コミュニケーションがとれてよかった」等の意見があった。

問 要望的な意見は。

答 「トイレがコース内の近くにあるといい」、「自然の中でのコース設定があってもよかった」、「知立の特産品等のお土産があってもよかった」等の意見があった。

問 次回のプロギングの現時点での計画

※プロギング(Plogging)…ごみ拾い(PlockaUpp)とジョギング(Jogging)をかけたスウェーデン発の新しいフィットネス。

内容は。

答 次回は、2月頃に開催予定。開催場所は調整中で、人数規模は50人を上限とする予定。

問 来年度以降のプロギングの考えは。

答 定期的に開催することで、7万人グリーンサンデーと同様に、市の行事としての定着を目指す。開催場所を固定することなく、市内の各地域での開催を検討している。



議会モニター会議



令和4年11月16日(水) 午後2時から市議会だより編集委員会とのモニター会議が開催されました。議会運営について、多くの貴重な意見・提案をいただきました。今後の議会活動に活かしてまいります。

【出席した議会モニター】

岡田 浩さん
小橋 和昭さん
泉 敏文さん
石原 悟さん

令和5年度の議会モニターを募集します。詳しくはホームページをご覧ください。



【主な意見】

- ・市民フリースピーチをするなら、若い世代、女性にしてもらった方がよい。
- ・委員会で議員が活動しているのが、見られるようにしてほしい。
- ・高架事業が市内で盛り上がっていない。途中経過を市議会だよりに載せてほしい。

モニター活動、貴重なご意見ありがとうございます